

祝 令和7年 春の叙勲



はたけやま としゆき
畠山 寿幸さん (85) =川目=
元町選挙管理委員会委員長。妻、子夫婦、孫との5人暮らし。趣味は郷土史をまとめること。

旭日単光章 (選挙管理事務功勞)

地元で農家を営む寿幸さんは、平成12年に町議会の町選挙管理委員選挙で当選し、令和6年3月まで6期24年にわたり活動した。委員として選挙啓発活動に取り組み、「有権者が選挙への意識を高め、投票率が上がればと常に考え行動していた」と振り返る。

各投票所を視察し、その状況を的確に把握して、投票所内の配置の見直しや土足で投票所に入れるよう施設にビニールシートを敷く等の投票所環境を改善。投票立会人に若者・女性を積極的に選任するなど選挙人の投票しやすい環境を整えた。投票所の統廃合による改編の際は、課題解決に向けて地域住民説明会で理解を求めると同時に、有権者の想いを尊重し寄り添った。

平成20年には町選挙管理委員会委員長に就任。年々投票率が減少していく中、これまで以上に啓発活動に力を入れた。

受章を受け「選挙を支えた行政職員に感謝している。同僚委員や家族の支えや理解があり受章できたと思う。とても嬉しい」と周囲への思いを話し、笑みがこぼれた。

瑞宝単光章 (看護業務功勞)



たかはしひろこ
高橋宏子さん (78) =下百岡=
元県立中央病院看護部次長兼看護婦長。夫と2人暮らし。趣味はグランドゴルフ。

昭和43年に県立磐井病院での勤務を初めに、37年以上にわたり看護師(当時は看護婦)として県内各地の病院で勤務した宏子さん。保健所で働いていた父を見て育ったことから、自身も公衆衛生に興味を持ち、県立一関高等看護学院に入学。実習を行う中で患者と真摯に向き合い、社会復帰の手助けができる看護師の道を選択した。

「誠実に一生懸命」をモットーにしていた宏子さん。成人病棟勤務が長かったが、異動で救急外来や小児病棟に配属された際も、仲間と協力して業務をこなした。24年間勤務した県立胆沢病院では、副総看護婦長として病院の移転にも携わり、地域医療の充実に尽くした。

受章の報告を受け「病院は組織として動いており、個人だけの表彰ではないが、代表して受章できることは嬉しく思うし、両親への恩返しになった。看護師は高度な仕事であるが、医師と協力して看護計画を立て、患者と同じ目線で話ができるように頑張っていた」と周囲や家族への感謝と同時に後進育成への思いを口にした。

人口と世帯		4月30日現在	
		※()内は前月比	
人口	15,141人	(+56)	
男	7,810人	(+35)	
女	7,331人	(+21)	
世帯数	6,619世帯	(+70)	

「# welove かねがさき」写真募集

新町誕生70周年を記念して、金ヶ崎町内で撮影した好きなものやお気に入りのスポットなど、金ヶ崎町の魅力を伝える写真を引き続き募集します。たくさんの投稿をお待ちしています。



- ①新町誕生70周年特設Instagramアカウント (@70kanegasaki_town) をフォロー
- ②金ヶ崎町内で写真を撮影(過去に撮影した写真も投稿可能です。投稿写真は加工しないでください。)
- ③ハッシュタグ「# welove かねがさき」をつけて投稿(撮影場所やエピソードなどのコメントも記載してください。)